

# 工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社  
〒252-0239 相模原市中央区中央3-12-3  
商工会館本館1階  
※プリントしてご自由にお読みください。

かながわ経済新聞  
KANAKAI

## 建設、交通運輸業部会と連携

工業部会は5月29日、市立産業会館で「自動運転技術は企業、社会をどう変える?」ミレニアル世代が創造する新しいモビリティ社会の到来」と題したセミナーを開催した。建設業部会、交通運輸業部会との連携事業の一環。

## 自動運転技術で初の講演会開催



講演する深尾氏

講師を務めたのは、浜銀総合研究所・主任研究員で自動車産業担当の深尾三四郎氏。深尾氏は自動車産業について「電気自動車(EV)をベースとした『コネクテッドカー』というビジネスモデル、1980〜2000年生まれの子世代が到来している」と説明。「EVがデファクトスタンダードになり、新興の自動車メーカーが相次いで誕生。EVをベースとした新たなクルマビジネスが始まる」として

また、今後の自動車産業は「大量生産時代から、ユーザーエクスペリエンス(UX)消費者の製品・サービスを通じた経験」の最大化を追求する時代へと変わっていく」と指摘。企業はターゲットとするユーザーのUXは何かを考え、事業戦略を練るべきとした。一方、地域のモノづくり企業に対しては「変化への対応力が求められる」と強調。具体的には①規模よりもスピードと柔軟性を重視する②他社と共創する(クラウドソーシングなど)③範囲の経済性の追求などを挙げた。



満員になった講演会の会場

## 航空機産業にかけた10年

### GET 講演会 コバヤシ精密の挑戦



製品を手にする小林社長

工業部会GETプロジェクトは6月28日の午後6時半〜同8時まで、市立産業会館で「KOBAYASHI SEI 空への挑戦」航空機産業参入にかけた10年」と題した経営講演会を開催する。講師は

工業部会副部長会長を務めるコバヤシ精密工業の小林昌純社長。同社は、半導体分野で技術を磨き、JAXA「はやぶさプロジェクト」に中小企業で唯一参加。2014年に航空宇宙規格「JISQ9100」を取得し、現在は無人航空機(UAV)やドローンのエンジンを自社開発している。航空機産業に新規参入し市場を開拓する同社の戦略について小林社長が語る。参加無料。定員40人まで。

### ドローン用のエンジン開発

コバヤシ精密工業はドローン用エンジンの開発に乗り出した。すでに製造している小型の無人航空機(UAV)用エンジンのノウハウを応用する。バッテリーとモーターで動くドローンは、飛行時間が短いのが課題。飛行時間が飛躍的に高まるエンジンに置き換えることで、ドローンが活躍できる幅が一気に広がる。「今年がドローンのエンジン元年です」と小林昌純社長は話している。

「現在のドローンの飛行時間は長くて40分。荷物を積み上げればせいぜい8分が限界です。これでは用途が限られてしまいません」と小林社長。それがエンジンで動くようにすることで、3時間は飛行できるドローンが可能になるという。開発を進めているドローン用エンジンはUAV用エンジンに改良を施した。UAVの場合、飛行中はエンジンが常に風に当たっているため、オイルパージする心配はない。しかし、プロペラを回すために機体中に搭載されるドローンのエンジンは、風に当たらずオイルパージの危険性がある。そこで、同社ではエンジンの外に専用の冷却システムを付けることで解決しようとしている。

## 段ボール製タンス発売

東鈴紙器がラインナップ

ペット向け製品も同時に



ペット向けに製品も追加



発売した段ボールタンス

東鈴紙器は、オリジナル商品「段ボールタンス」を発売した。家庭用のみならず、短期間の単身赴任やウィークリーマンションなどでの使用も想定。簡単に組み立てられ、不要になれば処分も容易なのが特徴だ。2段1セットで、サイズは縦41×横60×奥行き42センチ。価格は2500円(税別)。「今後は新製品を年間5アイテムほど出していきま」と意欲的だ。

「東京五輪開催時の選手村なんかにも活用できます」と鈴木和弥社長。直販サイト「トリーシヨップ」で販売していく。もともと、同社は工業向けの輸送用段ボールの製造販売が主力。BtoBからBtoC市場に新規参入する狙いで数年前から段ボール家具の市場に参入している。現在、段ボール製ベビーチェアやデスクといった幼児向けグッズをそろえているが、今回の段ボールタンスのような一般製品は初めて。一方、ペット向けの段ボール製グッズもラインアップ。猫ハウス「キャットプレイハウス」を発売した。簡単に組み立てられるほか、無地なので愛猫のイラストを描いたり、文字を書いたりすることも可能だ。価格は1000円(税別)。「今後は新製品を年間5アイテムほど出していきま」と意欲的だ。



職人がいい、施工がいい、住む人がいい。  
そこに良いまちが生まれる。

まちづくりの職人 久野新一

創業96年  
株式会社  
トータルハウジング久野

〒252-0246 神奈川県相模原市中央区水郷田名 2-11-26 TEL 042-762-0096 FAX 042-760-0078  
フリーダイヤル 0120-61-0096 URL http://www.t-h-kuno.co.jp/